

# 調節麻痺薬による屈折検査 (サイプレジン)

## ①目薬をする理由

物を見るとき、目の中では筋肉(毛様体)の緊張が起こり、水晶体を厚くしピントを合わせます。これを『調節』といいます。

正確な検査を行うために、調節を一時的に休ませる目薬を点眼し屈折検査をします。

## ②目薬によって起こる目の状態

- 調節ができないため、物を見たときピントが合わせにくくなり、特に近くが見えにくくなります。
- ひとみ(瞳孔)が大きくなり、光をまぶしく感じます。

※以上の変化は一時的なものです。通常の状態に戻るには約24時間かかります。

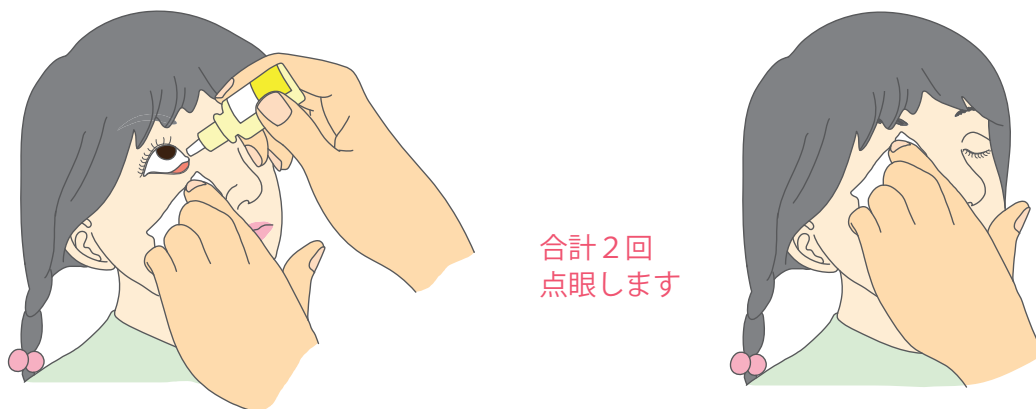
足下が見えにくくなります。  
段差・階段などは十分気をつけてください。

## ③検査の進め方

- 両目に一滴ずつ点眼します。
- 5分後に再度点眼をします。
- 2回目の点眼から約45分後に、詳しく視力検査を行います。

視力検査の結果によっては、眼鏡を作成することがあります。

その場合は、検査用の眼鏡を一時的に装着していただき、そのまま診察することになります。



ご不明な点がありましたら、お気軽にご連絡ください。